

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築)2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

1-1 建物概要

建物名称	今治Y様邸	
竣工年月	2019年7月	予定
建設地	愛媛県今治市	
用途地域	0	確定
省エネルギー-地域区分	6地域	
構造・構法	木造	確定
階数	1	
敷地面積	245 m ²	確定
建築面積	137 m ²	確定
延床面積	123 m ²	確定
世帯人数	4	仮

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 一部確定
〈備考〉		
評価の実施日	2019年4月22日	
作成者	三ノ宮 浩	
確認日	2019年4月20日	
確認者	三ノ宮 浩	

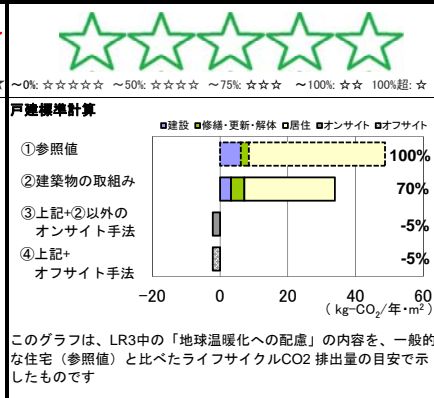
1-2 外観



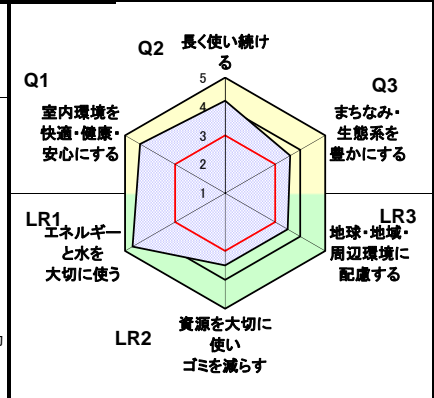
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



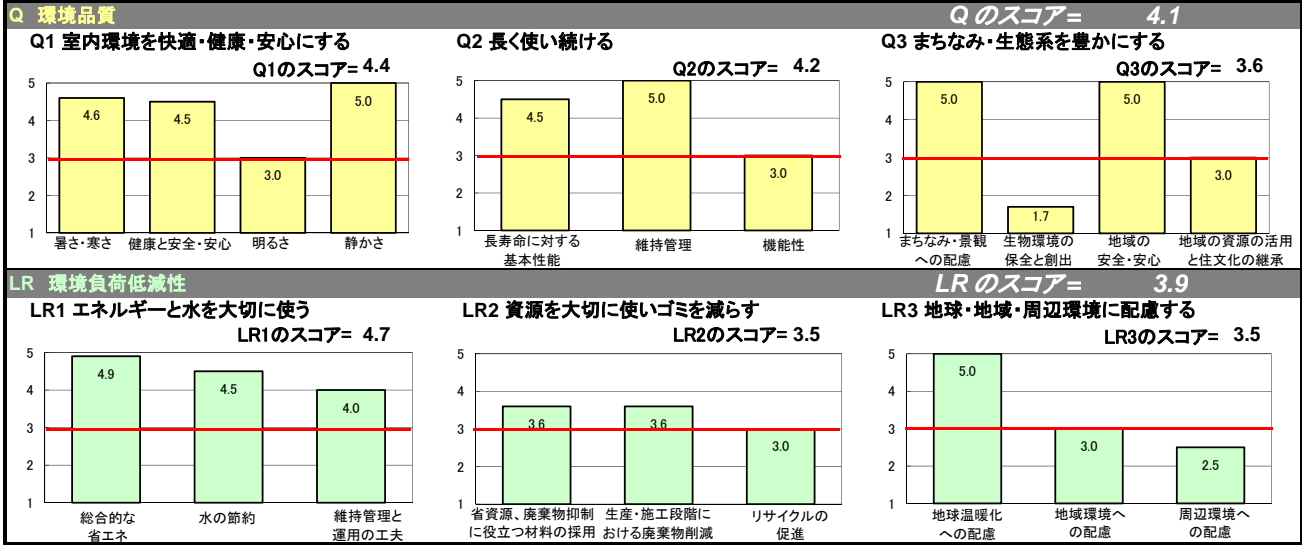
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 長期にわたり健康で安全な住宅、かつ、快適で省エネルギーな居住を供し、LCCO ₂ がマイナスになることを目指す住宅です。	その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、快適な温熱環境が維持でき、健康的に暮らせる住宅です。	Q2 長く使い続ける 維持管理体制においては、長期優良住宅の維持保全内容に添った点検・アフターサービスを行っています。長期優良住宅に基づく住宅履歴情報・保存・管理を行っており、不具合が生じた時の追跡調査も可能です。
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする まちなみに対し、道路境界線に対し工作物は設けず道路に沿った景観を乱さないようにしている。また、隣接地に対してはできる限り距離を確保し、日照、通風の妨げないような配慮を行っている。生態系に対する配慮として中高木の植栽を計画している。	LR1 エネルギーと水を大切に使う 暖房設備・換気設備・給湯設備・照明設備は高効率機器を採用し、強化外皮性能を超えるUA値0.36W/mKにより、太陽光に依存しすぎないLCCM住宅です。太陽光を除く設計一次エネルギー削減率が37%、太陽光を加えた設計一次エネルギー削減率が146%としている。また、HEMSを設置し、消費エネルギーの
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 外装材、内装材において再生可能な材料で作られたもののできる限り採用するようにしている。断熱材は再生材のセルロースファイバーを使用。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 建物周辺はできる限り雨水の地下への浸透を促す砕石敷きや植栽を計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)